

大阪市障がい者施策推進協議会障がい者計画策定・推進部会  
第2回ワーキング会議 議事要旨

日時：令和5年5月23日（火）午前10時～正午

会場：大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室

【議題1 次期計画「第2部 第1章 共に支え合って暮らすために」について】

《 議題1 資料1について 説明 》

- ・ 第1回ワーキング会議での意見を受け、要点を押さえたメリハリのある議論となるよう、障がい者支援計画の「施策の方向性」の記載部分について、冒頭に各項目の考え方や方向性を記載することを事務局より説明。
- ・ 啓発・理解促進の現状と課題について、精神障がいや発達障がいだけでなく、知的障がいや身体障がいに関することも、まだ社会全体に十分理解されていないと思われるため、個別の記載を設けてほしい。
- ・ 精神障がいに関する啓発・理解促進に関して、令和3年度から精神障がい者地域生活支援部会において審議が行われており、その内容を踏まえ、重層的な支援の重要性等についても記載すべきである。
- ・ 集合住宅において障がい者差別に関わる事象が起こった時に住宅部局や警察が適切に対応できなかった。大阪市の全部局に対しても啓発を行い、障がい者理解を深める取組が必要である。
- ・ 障がい者差別解消法の改正により、事業者による合理的配慮の提供が義務化されたことは画期的であり、それを計画に明確に記載してほしい。
- ・ わかりやすい情報発信に関して、大阪市のホームページはウェブアクセシビリティ方針があるにもかかわらず分かりにくいいため改善に取り組んでほしい。
- ・ 昨年の障がい者等基礎調査では、ICT 機器を使えない、使い方がよくわからないと回答をした人が4割近くおり、使い方を学ぶ機会の確保はとても大切である。講座等の周知にも取り組んでほしい。

【議題2 次期計画「第2部 第2章 地域での暮らしを支えるために」について】

《 議題2 資料2について 説明 》

- ・ 「精神科病院における精神障がい者虐待への対応」について、これまでも実地指導が行われているが虐待事件は起きている。虐待の未然防止や早期発見の取組について強調するとともに、対応方針を具体的に記載してほしい。また、実地指導においては、入院患者の声を聞いて、虐待の早期発見に努めてほしい。
- ・ 就労系サービスの質も向上に関して、就労継続支援A型事業所に焦点をあてて記載されているが、就労系サービス全般の課題であるため、そのように記載を修正すべきである。

- ・ 就労系障がい福祉サービスアセスメントシートについて、今後、就労選択支援事業が創設されることにより、アセスメントのあり方が大きく変わると思われるため、このシート引き続き使用するかを含めて、もう一度記載内容を検討すべきではないか。
- ・ 居住系サービス等の充実について、環境整備のことだけが記載されているが、対応が難しい強度行動障がいの事例もあるため、支援体制や人材確保についても記載してほしい。

### 【議題3 その他について】

#### 《 議題3 資料3について 説明 》

- ・ 難病者にも、就職、医療、教育などの問題があるが、難病について記載されている部分が少なく、支援の対象に難病者が含まれているのか疑問に感じる。計画の対象として、難病を明確に記載してはどうか。